第25回 競争政策研究センター国際シンポジウム

デジタル市場規制の展開と評価

－競争、消費者及び規制をめぐる法と経済学－

令和8年12月18日（金）13:00～16:00

会場　赤坂インターシティコンファレンス　the Amphitheater　　開催方法　ハイブリッド形式（会場・オンライン）

共催　（株）日本経済新聞社、（公財）公正取引協会、
神戸大学社会システムイノベーションセンター、
科学研究費補助金【基盤研究A】（研究代表者：池田千鶴教授（神戸大学））「プラットフォームの影響力拡大に伴う多元的リスクに対応した次世代規制の包括デザイン」、
科学研究費補助金【基盤研究S】（研究代表者：和久井理子教授（大阪公立大学大学院））「世界に開かれた日本独占禁止法データベースを基礎とするモデル競争法の創生」

後援　（一社）日本経済団体連合会　　言語　日英同時通訳

プログラム

(1) 開会の辞　中林純　京都大学大学院経済学研究科教授、競争政策研究センター所長

(2) イントロダクション　若林亜理砂　公正取引委員会委員

(3) 講演

デジタル規制の目指すもの－競争とその先へ
Objectives of Digital Regulation – Competition and Beyond
Rupprecht Podszun デュッセルドルフ・ハインリヒ・ハイネ大学法学部教授、ドイツ独占委員会委員

デジタル市場へのアプローチ：事前規制、事後規制、是正措置及び制度的枠組み
Approaches to Digital Markets: Ex Ante/Ex Post, Remedies, and Institutional Structures
John M. Newman　メンフィス大学法科大学院教授、ハーフ・チェア・オブ・エクセレンス

日本のデジタル規制の制度設計：不確実性下の事前規制と事後規制のバランス
Designing Digital Regulation in Japan: Balancing Ex Ante and Ex Post Regulation under Uncertainty
岡田羊祐　成城大学社会イノベーション学部教授

(4) パネルディスカッション

モデレーター　和久井理子　大阪公立大学大学院法学研究科教授、競争政策研究センター客員研究員

パネリスト
Rupprecht Podszun　デュッセルドルフ・ハインリヒ・ハイネ大学法学部教授、ドイツ独占委員会委員
John M. Newman　メンフィス大学法科大学院教授、ハーフ・チェア・オブ・エクセレンス
岡田羊祐　成城大学社会イノベーション学部教授
善如悠介　神戸大学大学院経営学研究科教授
渕川和彦　慶應義塾大学法学部准教授、競争政策研究センター主任研究官

(5) 質疑応答

(6) 閉会の辞　鈴木彩子　早稲田大学国際学術院国際教養学部教授、競争政策研究センター主任研究官

参加申込締切日：12月16日(水)正午

問い合わせ先：　公正取引委員会競争政策研究センター（CPRC）事務局
Tel：03-3581-1848・E-mail：cprcsec@jftc.go.jp

申込みは
こちらから